

明星

亀山市立白川小学校だより
第42号
平成31年1月30日 (文責 川合)

～であい ふれあい そして未来へ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成 命の尊さを学ぶ 1 / 25 2年 保健指導

人は成長するとともに、どこかに節目があるように思います。成人式がその一つですが、小学校4年生がその半分の10歳。そして、小学校2年生。生まれた時を振り返り、家族の中で大切に育てられてきた自分を知り、命の尊さや家族への感謝の思いをもち、これからへと進める時です。先日、養護教諭が行った授業を紹介します。

めあては、おかあさんのおなかの中のひみつを知ろう。紙芝居をみて、赤ちゃんが育つための必要な、子宮・羊水・へその緒・胎盤という器官を学びました。そして、へその緒を通してお母さんから栄養をもらっていたことを学びました。次に、約10か月かけて、育つことを学びました。それぞれの時期の大きさを図や人形を使い知ることができました。子どもたちが驚いたのは、一番初期の大きさが、0.1ミリでその大きさを開けた黒い画用紙を見た時です。こんなに小さなところから自分たちの命がはじまった、そしてここまで大きく育ててもらったことに感動した様子でした。



また、生まれるまで、栄養に気をつけてくれていたこと、つわりが強かったけど、生まれることが幸せだったこと、病気にならないように気をつけたこと、元気な子になるよう、睡眠をしっかりとったことなどの話を知って、お母さんが、そしてまわりの家族が大切にしてくれたことをしっかりと感じた様子でした。



ふりかえり学習では、約3000gの人形を抱き、生まれた時の様子を学びました。



6年租税教室 1・25（金）

亀山市役所の方に「税金」について、授業をしていただきました。自分たちが普段払っている税金がどこに使われているのかを学びました。また、税金がなくなると何がおこるのかを考え、税金の必要性を学びました。

みんなが一生懸命考え、学んでいました。



神辺保育園との交流 1・29（火）

神辺保育園の年長さんと神辺小の1年生・白川小の1年生との交流を行いました。

神辺保育園に行きました。げんこつ山のたぬきさんを楽しみながら8つのグループで交流しました。その後、グループで、すごろくや坊主めぐり・かるたを楽しみました。

私も初めて見たのですが、『じごくのそうべえ』のカルタとすごろくがあるのに驚きで、それがまたおもしろかったです。

その後、こま回しを楽しみました。

1年生も楽しそうに遊んでいました。交流を通して、子どもたちが仲よくなれるといいですね。



大雪でしたね。

大雪警報が出るほど、26日(土)の夕方から27日(日)の朝方にかけて20センチ程雪が積もりました。あたり一面真っ白で花壇の花や野菜は雪の下です。

月曜日は大きな雪だるまを作って遊んでいました。

上白木の通学路を、日曜日に打田一生さんが融雪剤をまいて通りやすくしてくださいました。ありがとうございました。

